

土湯温泉町 まちづくりニュース

第19号(最終号) 2019.6

— 発行 —

土湯温泉町地区
まちづくり協議会

会長 加藤 勝

事務局 福島市土湯温泉町字下ノ町22番地の1
TEL 024-595-2217 FAX 024-595-2016

土湯温泉町地区都市再生整備事業

観光交流センター「湯愛舞台」・

まちおこしセンター「湯楽座」完成セレモニー



令和元年5月24日(金)、福島市主催で観光交流センター「湯愛舞台」・まちおこしセンター「湯楽座」両施設の完成セレモニーが開催されました。この両施設の完成を以って平成26年度から5年間かけて行われた土湯温泉町地区都市再生整備計画事業が完了となりました。

セレモニー式典には、国県市から議員、行政の関係者の皆様をはじめとして、土湯温泉町地区まちづくり協議会会員ならびに土湯女将会の面々が招待



を受け、華やかな開催となりました。式典では、両施設の建設にあたった工事業者の皆さんへの感謝状贈呈から始まり、主催者である木幡 浩福島市長から、完成の慶びとともに「この5年間、地域の皆さんと協議を重ねながら今日の完成の運びとなりました。これで多くのお客様をお迎えするためのハード整備は完了しました。これからは、これら施設を生かしていかにお客様に土湯温泉をアピールしていくか更なる努力と創意工夫が求められます。引き続き地元の皆さんが一体となって、地域活性化のために邁進されることを期待します。」と挨拶がありました。

続いて、土湯温泉町地区まちづくり協議会の加藤勝一会長より来賓のご挨拶をいただき、関係者の



方々への御礼とねぎらいの言葉がありました。そして、セレモニーお祝いのくす玉割が行われ、くす玉が開くと同時にきぼっちゃんの垂れ幕が出てきたり、きぼっちゃんを書き込まれた紙吹雪が飛ぶなど趣向が凝らされたくす玉割りとなりました。なお、セレモニー終了後は、湯愛舞台の屋外に設置された7体の土湯こけしのモニュメント「こけしのほほえみ」の除幕式も行われました。



土湯温泉復興祭



5月25日(土)から26日(日)にかけて「土湯温泉復興祭」が開催されました。

土湯温泉町地区都市再生整備計画事業の完了を祝い、土湯温泉町地区まちづくり協議会(会長 加藤 勝一)の主催で2日間に渡り「土湯温泉復興祭」を開催しました。25日、26日の両日は夕方から復興祭「夜の大宴会」と称して、歩行者天国での仮設舞台にて曳地榮子さんの踊りや水芭蕉会の三味線演奏、そしてカラオケなど地域の皆さん、観光客の皆さんが一緒になって復興の饗宴が行われました。両日とも終盤には復興花火も打ち上げられ、多くの方が花火を見ながら祭りを堪能しました。



26日は、観光交流センター湯愛舞台の展望広場で復興祭式典を開催し、根本匠厚生労働大臣、渡辺博道復興大臣、亀岡偉民衆議院議員らをはじめとした多くのご来賓に参加いただきました。公務の都合で参加できなかった安倍晋三内閣総理大臣、石井啓一国土交通大臣、若松謙維参議院議員の3名からはお祝いのビデオメッセージが寄せられました。また、多くの地元の方々も参加し式典をご覧いただきました。



主催者である土湯温泉町地区まちづくり協議会の加藤勝一会長からは、「震災後の塗炭の苦しみから幾多の苦難を乗り越え、関係各位の理解と支援により、ここまで至ったことに感激が絶えない。これからも土湯温泉に住んで良かった、観光に来て良かったと言ってもらえるまちづくりをしていき、次世代の若者に引き継いでいきたい。」と挨拶がありました。

式典終了後、湯愛舞台正面駐車場にて工事関係事業者からの寄付による紅白の梅の苗木5本の記念植樹が渡辺復興大臣を交えて行われました。そして、記念植樹終了後にはイベント屋内広場にて祝賀会が開催され、渡辺復興大臣による祝辞や祝舞など復興のお祝いが繰り広げられました。祝賀会の最後には、土湯温泉町地区まちづくり協議会の加藤勝一会長、渡邊和裕地域づくり委員長、陳野原幸紀環境整備委員長の3名に女将会より感謝の花束贈呈がありました。



土湯温泉町地区まちづくり協議会会員の皆さん、福島市関係職員の皆さん
5年間お疲れ様でした。